

事業概要書

事業名	松戸の踊りの文化継承事業
団体名	踊る まつどのひとたち
事業担当課	文化財保存活用課

事業概要
本事業は、松戸市内のエリア間における地域文化の担い手不足やコミュニティの活性度の地域間格差がもたらす「文化体験格差」を是正するための広域連携プロジェクトです。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	現在、市内のエリアによって伝統芸能の担い手不足やコミュニティの結合度に差が生じており、その影響で子どもたちが「踊り」を体験する貴重な機会が失われつつあります。この「地域格差」に起因する「体験格差」を是正することは、松戸市の郷土愛を育む上での重要な課題です。地域の垣根を越えた連携により、松戸の踊りの文化を継承する仕組みづくりが求められています。
事業の目的	現在の松戸市内では、エリアによる人口構成の変化や住民同士のつながりの希薄化に伴い、伝統的な踊りの継承や、子どもたちが文化に触れる「体験機会」に地域格差が生じています。本事業は、従来の町内会や自治会といった狭い枠組みを超え、市内のさまざまな地域から人が集まる「広域的な盆踊りイベント」を開催することで、この体験格差を是正することを目的としています。担い手不足に悩む伝統地域の保存会と、体験機会の少ない住宅地の住民（特に次世代を担う子どもたち）を広くつなぐことで、松戸市全体の郷土愛を育み、松戸の踊りの文化を継承するための新しい基盤を築きます。
事業内容	地域の枠を超えた「合同盆踊りイベント」の開催 市内の誰もが集まりやすい拠点を会場として選び、エリアの垣根を越えて誰もが気軽に参加できる盆踊り大会を実施します。 「出張体験プログラム」の実施 イベントの開催に先立ち、普段は踊りに触れる機会が少ない地域の公共施設や商業施設等へ出向き、事前のミニ体験会（練習会）を行うことで、本番への参加のハードルを下げます。 Google フォームを使用して、参加者に対してアンケートを実施し、参加満足度を測定します。 デジタルアーカイブを活用した普及活動 踊りの様子やお手本となる動画を撮影・編集し、オンラインで広く発信します。 これにより、イベント終了後も住んでいる地域に関わらず、いつでも自宅や学校で練習・体験できる環境を整えます。 YouTube での再生回数で活用度を測定します。

協働の必要性	本事業が目指す「地域間格差及び体験格差の是正」は、一過性のイベントにとどまらず、松戸市の無形文化財や地域コミュニティを長期的に守るための持続可能なアプローチです。文化財保存活用課が有する「伝統芸能の保存・人材育成に関するノウハウやネットワーク」と、私たちが培ってきた「踊りイベントの企画・運営実績」を掛け合わせることで、これまで伝統文化に触れる機会が少なかった地域へもアプローチを広げ、市内のどこに住んでいても等しく文化を体験できる仕組みを構築します。 行政の持つ信頼性と民間の柔軟性を活かした協働体制を築くことで、市内の子どもたちが住む場所に関わらず、等しく松戸の豊かな文化を学び、郷土愛を育む環境を実現できると考えております。 市としても、「松戸市文化財保存活用地域計画」の取組 23 として「無形の民俗文化財の後継者確保・育成へのサポート」をあげており、新たな市民団体との協働は、その対象を広げられる点で、非常に有意義です。
事業の目標	<u>「合同盆踊りイベント」の実施</u> 令和 9 年度に 3 回開催（春、秋、冬）。各回 50 人以上（うち、子ども 20 人以上）の参加。 <u>「出張体験プログラム」の実施</u> 令和 9 年度に 6 回開催（春、秋、冬各 2 回）。参加満足度 70%以上（5 段階評価の上位 2 つが 70%以上） <u>デジタルアーカイブを活用した普及活動</u> 動画 年間 3 本公開 年間再生数 各 600 以上

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 256,500	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	イベント参加費	¥ 27,000	出張体験プログラム 100円×20名＝2000円を6回 合同盆踊りイベント 100円×50名＝5000円を3回
	団体拠出金	¥ 18,000	打合せ交通費 1人3600円×5名
	自己資金の合計額 (B)	¥ 45,000	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 219,900	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 264,900	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 15,000	外部講師 1回1,000円×1名×6回、2名×3回 動画編集 1本1,000円×3本
	交通費	¥ 18,000	交通費 400円×5名×6回（出張体験） 400円×5名×3回（合同盆踊り）
	食糧費	¥ 42,000	参加者用飲料またはお菓子 100円×20名×6回（出張体験） 200円×50名×3回（合同盆踊り）
	印刷製本費	¥ 18,000	チラシ印刷 2,000円（100枚）×6回（出張体験） 2,000円（100枚）×3回（合同盆取り）
	使用料及び賃借料	¥ 79,500	会場使用料（公園・市民センター） 1,000円×6回＋4,500円×3回 音響機材使用料 20,000円×3回
	保険料	¥ 74,400	イベント保険 6,200円×6回 12,400円×3回
	対象経費の合計 (E)	¥ 246,900	
(その他経費)	打合せに伴う交通費	¥ 18,000	交通費 400円×5名×6回（出張体験） 400円×5名×3回（合同盆踊り）
	その他経費の合計額 (F)	¥ 18,000	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 264,900	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数 × 時間回数 × 1140円
	合同盆踊りイベント準備	34,200 円	5 人 × 2 h × 3 回 × 1140 円
	合同盆踊りイベント実施	51,300 円	5 人 × 3 h × 3 回 × 1140 円
	出張体験プログラム準備	68,400 円	5 人 × 2 h × 6 回 × 1140 円
	出張体験プログラム実施	102,600 円	5 人 × 3 h × 6 回 × 1140 円
	合 計 (A)	256,500 円	

事業の実施体制

事業従事者数	5人
--------	----

従事者	事業における主な役割
A	事業統括、行政との連携窓口
B	事業企画、イベント等の募集・周知、アンケート集計
C	イベント準備および運営
D	イベント準備および運営
E	イベント準備および運営